

万が一の災害を想定し 対策を整備・確認しておこう

自然災害発生時に備えて、いま営業店に求められる態勢整備を解説する。

木村 潤 金融業務アドバイザー & コンサルタント

① 職位に関わらず自行庫のマニュアルを把握しておこう

平 成23年3月に発生した東日本大震災により、官公庁や大手企業等でのBCP（ビジネス・コンティニュイティ・プラン。事業継続計画）への関心が一気に高まった。

それ以前にもBCPを作成していた企業等は少なくなかった。しかし東日本大震災発生時に機能しなかったという現実を重視した各省庁から、同年中に各々が所管する業界に対して実態調査や行政指導が取り急ぎ実施された経緯がある。

経験や職位を問わず全員が準備しておく

金融機関もこの例外ではなく、同年7月に、金融庁によってシステムリスクの総点検が要請されている。さらに、翌年5月にはこの点検結果を受ける形

で金融検査マニュアルが大幅に改定され、⑦大規模災害を念頭に置いてリスク顕在化時の「最悪のシナリオ」を想定すること、⑧外部委託先との連携を含めた有事対応策を確保することなどが求められている。

それまで本部と支店間ならびに本部と監督当局間の連絡を中心としていたBCPの範囲が、業務委託先等を含む実務までの拡充が求められたため、BCPの容量は急激に増大した。実際に、各金融機関が策定・保有するBCPや災害対策マニュアル（以下、災害対策マニュアル）の記載内容は、極めて幅広く詳細な範囲に及んでいる。

その一方で、災害対策マニュアルの分量が多過ぎてしまい、有事の際にも「どこに何が書いてあるのか分からない」「使い

図表1 災害対策マニュアルを使いこなすために必要なこと

- ▶ 概要部分を要約して別途すぐ使えるようにしておく
- ▶ 自身の該当箇所だけを抜き出して打ち出しておく
- ▶ 全量をあらかじめ読み込んでおく
- ▶ 実際に関係先に連絡を取る
- ▶ (上記によって) 更新実態を確認しておく

こなせない」といった課題が生じるようにもなっている。

狭い国土だが活火山数は世界4位のわが国では、今後も自然災害の発生が避けられない。それゆえに職位や経験を問わず災害対策マニュアルの記載内容を理解したうえで、有事に適切な対応をする必要がある。

実際に大規模災害が発生した際の対応は業務全般に及ぶため、あらかじめ様々な場面を想定したうえで準備しておく必要

がある。極端な例だが、支店が被災して新人行職員1名以外に誰も動けなくなれば、一時的にせよ新人が支店長の役割を務める可能性もあるのだ。

それゆえに、職位や年次を問わず、災害対策マニュアルの理解を求めざるを得ない（**図表1**）。通常の規程・要領以上に、「災害対策マニュアルを要約しておく」「個別の災害対策マニュアルを作る」等の対応を

慎重、あらかじめ全てをプリントアウトしたうえでしっかりと読み込むようにしたい。

他部署や外部機関との連絡方法も確認

また、金融業務は相互に関係しており、自店だけで業務が完結するわけではない。自身の担当業務だけの対策では有事には対応できず、外部機関を抜きに業務を進めることもできない。

このため各担当者が、閑散日（非繁忙日）等に他部署や外部機関等に実際に連絡が付くかを確認し、有事に備えておくことも極めて有効だ。

こうした対応を通じて、自行庫の災害対策マニュアルがきちんと更新されているかを確認することも極めて重要だ。広範囲かつ詳細で深度あるマニュアルほど、更新の負担が重くなる。手持ちの災害対策マニュアルに

更新確認日を記入するとともに、更新が必要と認められた部分を本部宛に具申されたい。また、**図表2**に挙げたようなチェックリストも参考にしながら、各設備等の確認を行っていただきたい。

次ページ以降では、たとえ災害対策マニュアルがあっても、有事に遭遇した際に適切な対応が難しいと思われる状況を挙げ、対策を解説する。

図表2 災害対策確認表のサンプル

| 分野 | 内容（該当箇所[✓]） |
|--------------|--|
| ライフライン（電気） | <input type="checkbox"/> 通電 <input type="checkbox"/> ブレーカーの破損 <input type="checkbox"/> 機器の破損 |
| ライフライン（水道） | <input type="checkbox"/> 給水 <input type="checkbox"/> 排水 |
| ライフライン（通信機器） | <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 非常電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> インターネット・接続用PC |
| 非常用備品 | <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 非常用飲料水 <input type="checkbox"/> 非常用トイレ <input type="checkbox"/> 懐中電灯・乾電池 <input type="checkbox"/> ヘルメット・軍手 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> 毛布 |
| 室内 | <input type="checkbox"/> 天井 <input type="checkbox"/> 床 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 窓ガラス <input type="checkbox"/> 出入口 <input type="checkbox"/> ATMコーナー <input type="checkbox"/> 金庫室 <input type="checkbox"/> (上層階への) 階段 <input type="checkbox"/> 書庫 <input type="checkbox"/> 重要鍵 |
| 移動手段 | <input type="checkbox"/> 道路情報・利用者情報 <input type="checkbox"/> 店舗自動車・バイク・自転車 <input type="checkbox"/> 鉄道・バス・船舶 <input type="checkbox"/> 住宅地図 |
| 緊急連絡先 | <input type="checkbox"/> 金融機関内・部門および担当者名 <input type="checkbox"/> 監督当局・窓口 <input type="checkbox"/> 業務委託先・担当者名 <input type="checkbox"/> 近隣金融機関・担当者名 <input type="checkbox"/> 所轄警察署・担当部門 |

※各営業店で別途作成することは厳禁！これらがBCPや災害対策マニュアルでカバーされていることを(再)確認する位置づけ